

建築家/美術史家 山名善之 講演会

近現代建築の保存と活用について

昭和の時代が終わって30年が経過し、来年は終戦から75年を迎えようとしている。施主・設計者・施工者・職人等の熱意や熟練された技術・デザインなどが込められた建築物には、その時代を反映するとともに、学術的・芸術的・文化的に価値の高いものが多くある。しかし、それらは人々の生活や経済活動と密接な関係があるが故に、機能性・経済性などの理由で大規模に改修されたり解体されたりする運命を常にはらんでいる。経済優先のグローバルな社会から、環境や文化・地域性を大切にす時代になって久しい今、近現代建築の文化的価値について考え、社会に発信していくことが求められている。

今回は、ル・コルビュジエ研究の第一人者として知られており、国立西洋美術館が2016年に世界文化遺産に登録された際の立役者として著名であり、現在、一般社団法人DOCOMOMO Japanの副代表理事をされている山名善之氏に、近現代建築の保存と活用についてお話しいただきます。

(中略)1989年のユネスコの中期プログラムにおいては、文化遺産が以下のように定義されるに至っている。

文化遺産とは、各々の文化すなわち全人類が過去から受け継いだ、芸術的あるいは象徴的な有形記号体系の全体と定義することができる。文化的アイデンティティを肯定し豊かにする構成的な要素のひとつとして、全人類のものである遺産として、文化遺産は、各々の場所にその独自の特徴を与える。それは人間の経験の宝庫である。それゆえ文化遺産の保存と公開は、文化に関する政策の要石をなしているのである。

(中略)また、遺産というと、とかく遺す側を主体と考えがちだが、この定義で気づくように、「文化遺産(cultural heritage)の主体は受け継ぐ側の方にあるのである。(中略)受け継いだ側、継承した側、つまり過去のものではなく今日的な視点が重要になってくるのである。

山名善之著『世界遺産 ル・コルビュジエ作品集 ー国立西洋美術館を含む17作品登録までの軌跡ー』
(TOTO出版・TOTO建築叢書9)より



講師：建築家/美術史家山名善之 (やまな よしゆき)



1966年生まれ。1990年に東京理科大学卒業後、香山アトリエ・環境造形研究所、パリ・ベルヴィル建築学校DPLG課程、パリ大学1(パンテオン・ソルボンヌ校)美術史考古学研究所博士課程を経て、現在は東京理科大学理工学部建築学科教授を務める。一般社団法人DOCOMOMO Japanや日本イコモス国内委員会の理事としても活躍している。

【受賞】第3回西洋美術振興財団賞(2008年)、ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展特別審査委員賞(2016年)、フランス共和国芸術文化勲章シュヴァリエ(2017年) など多数

【著書】『世界遺産ル・コルビュジエ作品集』(TOTO出版、2018年)、『新宿駅西口広場一坂倉準三の都市デザイン』(鹿島出版会、2017年)、『en[緑]:アート・オブ・ネクサス』(共著、TOTO出版、2016年) など多数

■建築家/美術史家 山名善之 講演会

日時/2020年1月18日(土) 14:00~16:00
(13:30受付開始)

場所/岡山市立オリエント美術館
地階 講堂
(岡山市北区天神町9-31)

定員/50名(入場無料)

主催/一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所
後援/岡山県、岡山市、公益社団法人日本建築家協会中国支部岡山地域会、一般社団法人岡山県建築士会、一般社団法人岡山県建築士事務所協会、岡山建築設計クラブ

【問合せ先】岡山支所事務局(担当:有森)
TEL 086-226-7504

FAX (086) 231-9354 お手数ですが、必要事項を記入の上1月8日(水)までにFAXにてお申込みください。

お名前

会社名

電話番号

お申込みはFAXのほか、e-mailでも結構です。「山名善之講演会申込」の旨を記載いただいた上、お名前、会社名、電話番号を添えてください。
e-mail tatsuya_arimori@pref.okayama.lg.jp
メールアドレスの最後は「エルジー ドット ジェイピー」です。